

# 家畜衛生だより

令和7年度25号（鶏）令和7年11月発行



南部家畜防疫協議会  
(公社)千葉県畜産協会  
千葉県南部家畜保健衛生所  
〒296-0033 鴨川市八色52  
電話 04(7092)2304  
FAX 04(7092)1434

## 千葉県内で野生カモ類の糞便から 低病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N2亜型)が検出されました。

高病原性鳥インフルエンザ発生予防のため、県内で実施している野生カモ類の糞便のサーベイランス検査において、採取した糞便1検体から、低病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N2亜型)が検出されました。本期は既に国内各地の農場や野鳥から鳥インフルエンザウイルスが確認されています。引き続き厳重警戒をお願いします！

現在国内のHPAI発生家きん農場1例目から3例目までについて、国の疫学調査チームの現地調査概要が公表されています。いずれの事例においても発生農場周辺でカモ類、水禽やカラスなどの野鳥が多数確認されたことが指摘されています。

飼養衛生管理基準を遵守し、ウイルス侵入防止対策の見直しをお願いします！

【現地調査概要は、以下からご覧いただけます】

👉 [https://www.maff.go.jp/j/syousan/douei/tori/r7\\_hpai\\_kokunai.html#3](https://www.maff.go.jp/j/syousan/douei/tori/r7_hpai_kokunai.html#3)

**衛生管理・防疫対策を徹底し、農場を鳥インフルエンザから守りましょう！！**

- 卫生管理区域に立ちに入る者の手指消毒等
- 卫生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- 卫生管理区域に立ちに入る車両の消毒等
- 家きん舎に立ちに入る者の手指消毒等
- 家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用
- 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕
- ねずみ及び害虫の駆除

千葉県南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304 FAX 04-7092-1434

※急性悪性家畜伝染病（高病原性鳥インフルエンザ等）の早期対応のため、疑わしい症状があれば速やかに連絡してください。

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください。

# 正しく消毒できていますか？ ～低温下での消毒～



逆性石けん(アストップ、パコマ、ロンテクト、パンパックス等)は低温下で消毒効果が著しく低下し、凍結の恐れもあります。以下の対策を参考に、適切な消毒を行いましょう。

## ●アルカリ剤の添加

逆性石けんに消石灰等のアルカリ剤を添加すると、低温下でも消毒効果が維持・増強されます。

**粒子径の小さいマイクロ水酸化カルシウム**を使ってください。

粒子径の大きい水酸化カルシウムでは、添加しても十分な相乗効果が得られません。

推奨粒子径:10μm程度以下 推奨濃度:0.17%

消毒薬作成例:水 1t

逆性石けん(×500～×1000) 1～2L

水酸化カルシウム 1.7kg

使用場面例:動力噴霧器による車両消毒 ※1

オールアウト後の鶏舎消毒

資材(輸送かご、卵トレイ)や衣類の漬け込み消毒 ※2、3

長靴の踏込消毒槽 ※2、3

### 〈注意点〉

※1 アルカリ剤の効果で配管内に蓄積されたヘドロが剥がれてノズルが詰まる事があるため、一度ノズルを外してヘドロを除去しましょう。

※2 糞便等の有機物があると、消毒薬の効果が低下してしまいます。必ずきれいに洗浄を行ってから消毒しましょう。

※3 長靴は3分間、衣服は30分間以上の漬け込みが必要です。

## ●凍結防止対策で不凍液を添加

低温下で消毒薬が凍結する場合は、**動物用消毒薬に使用可能な不凍液等を添加**しましょう

## 野生動物侵入対策の徹底をお願いします！

・野生動物を誘因するような環境が農場内にある場合は、早急に対策を！

餌こぼれ 実のなる樹木 水場 廃棄卵の放置 など

・野生動物が家きん舎に入れない環境づくりの徹底を！

防鳥ネットの設置

バーコンシャッター、除糞ベルトの蓋などの隙間対策

特に集卵ベルト・除糞ベルトと壁のわずかな隙間などからウイルスを持ち込む小動物が侵入する可能性があります  
破損等がみられたら速やかに補修してください。

隙間ができてしまう場合は、フェンス(できれば板)で侵入防止措置を！

わずかな隙間  
も侵入リスク！



# 第67回千葉県家畜保健衛生業績発表会 ～ 特別講演 ～

## ワクモ防除に関する最新情報

令和7年12月19日（金）  
14：30～16：00

会場

千葉県文化会館 小ホール

（〒260-8661 千葉県千葉市中央区市場町11番2号）

講演会内容

ワクモの防除は養鶏産業界にとって大きな課題である。

現在市販されている大半の殺ダニ剤は国内のワクモに対して抵抗性を示し、駆除に苦慮しているのが現状である。

本年3月に市販化された新薬は、前記のワクモに対しても100%の致死効果、さらにワクモでは世界で初めて連鎖駆除効果を示すことが判明した。

本講演では新薬を中心にワクモの防除効果について、実験室内、野外における成績を紹介する。

講師紹介

村野多可子 氏

全農家畜衛生研究所  
獣医学博士

日本大学農獸医学部獸医学科卒  
日本獸医畜産大学で獸医学博士取得  
千葉県職員として主に鶏の試験研究に従事  
現在全農家畜衛生研究所と委託契約  
国内全域の養鶏場を対象にワクモの調査  
研究並びに指導を実施



参加費

無料

参加者人数把握のため、  
右のQRコードから、参加申込を  
お願いします。  
申込無しでも参加は可能です。



参加申込フォーム

お問合せ

主催 千葉県農林水産部畜産課家畜衛生対策室  
電話 043-223-2938  
FAX 043-222-3098  
メール chikueisei@mz.pref.chiba.lg.jp

# 電子指示書システム運用開始のお知らせ

2025年4月から、獣医師が発行した指示書を電子で受け取ることができる電子指示書システムの運用が始まりました。

農場ごとの医薬品処方量を可視化<sup>(※1)</sup>することで薬剤耐性菌をはじめとする疾病対策にも有用です。是非ご利用ください。

※1 指示書により処方・投薬された医薬品に限る

利用料無料<sup>※2</sup>

※2 通信料は個人負担となります



獣医師



診療・指示書発行



生産者



指示書の確認

販売店



指示書に基づき動物用医薬品を販売

## 指示書を電子化して投薬業務を効率化！

電子指示書による指示書の発行が可能かは、かかりつけの獣医師にご相談ください。

ご不明点は、飼養衛生ポータルコールセンターまでお問い合わせください。

電話: 050-3501-7060

受付時間: 平日09時30分~17時30分(土日祝日及び年末年始を除く)

担当: 農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課  
薬剤耐性対策班 03-3502-8097

電子指示書システムの利用申請をお考えの方はこちら→

農林水産省HP  
(<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuhi/vmed-record.html>)

